

■ アドミッション・ポリシー

<経営・経済研究科>

経営・経済研究科では、経営学・経済学の両分野にわたる基本理論と論理的思考法を広く学び、研究領域における社会科学の専門性を深めて、将来のプロフェッショナル・キャリア開発の基盤となる自立的研究力を有する高度職業人材を養成する。

上記の人材養成目的に基づき、以下に記した資質と意欲を持つ人を求める。

【博士前期課程】

- ① 学士課程進学者には、専攻する研究領域に関わる専門基礎分野の学修達成、ならびに専門職キャリア志向の意欲・態度を身につけていることを求める。
- ② 社会人入学者には、専攻する研究領域に関わる専門基礎分野の学修経験あるいは実務経験、ならびに専門職分野へのキャリアアップの意欲を有していることを求める。

【博士後期課程】

専攻する研究領域に関わる修士論文及び学術発表・論文の研究実績と、高度専門職としての自立の意志を有することを求める。

<心理学研究科>

心理学研究科では、本研究科の教育目的を達成するために、以下に記した志向・態度・意欲や知識・能力を持つ人を求める。

【博士前期課程】

- ①心理学について強い問題意識を持ち、高度な心理学の専門知識・技能を備えた職業人をめざす。
- ②生涯にわたり学習しようとする意欲を持ち、多様な心理学的事象に関して社会に貢献しようとする熱意を有する。
- ③専門研究者を目指し、心理学の各分野の実証的研究をふまえて、多角的・総合的視点から研究を行うのに適した資質を持つ。

【博士後期課程】

博士後期課程ではとくに、以下を重視する。

- ①心理学における高度な専門的知識を有するだけでなく、心理学の先端的な研究方法と対応スキルを持ち、実践することができる。
- ②幅広い観点から、心理学研究の発展に寄与するような教育研究に携わることができる。
- ③心理学及び関連領域において幅広く貢献する高度心理専門職業人の育成に資する人材の育成に携わることができる。

<現代社会文化研究科>

現代社会文化研究科は、本研究科の教育理念及び教育目標にもとづき、以下のような人材を求める。

[現代社会学専攻]

現代社会学専攻は、社会学に関する高度な専門的知識を基盤として、現代社会の全体像を多角的に研究することを通じて、複雑化する様々な社会問題の解決や地域社会の持続性を目指して学術研究する能力を備え、現代社会のイノベーションや地域社会の持続性に寄与する高度専門職業人の養成を目指している。このため、以下の資質・意欲をもつ人材を求める。

- ① 現代社会学分野において研究するための基礎学力と学修意欲を備え、かつそれらを高度なものとするための努力を惜しまない者
- ② 現代社会学分野において、自ら主体的に研究課題を設定し、従来の学問体系や方法論を学んだ上で、これらにとらわれることなく、新しい研究成果を志向する意思と、論理的に考察する能力をもっている者
- ③ 特定の学問領域を学んでいく強い意欲をもち、修得した高度な専門的知識や自らの研究成果を職業に活かし、社会への還元を強く志す者

[国際教養学専攻]

国際教養学専攻は、国際的通用性のある教養と、英語あるいは日本語の高度な運用力を持ち、自らを深く知り、研究をとおして自らを不断に成長させる人材を育成する。特に、国際共通語としての英語を活用して、世界中の異文化に視野を広げ、他者の価値観を尊重し、自分の生き方が相対化できる高度専門職業人、あるいは国際的視野から日本の伝統文化や最先端の文化および日本語についてより深く学び、自国文化を積極的に他者に発信することができる高度職業専門人の養成を目指している。このため、以下の資質・意欲をもつ人材を求める。

- ① 英語あるいは日本語の高度な運用能力を有し、国際教養学分野において研究するための基礎学力と学修意欲を備え、かつその学力をより高度なものとするための努力を惜しまない者
- ② 国際教養学分野において、自ら主体的に研究課題を設定し、従来の学問体系や方法論を学んだ上で、これらにとらわれることなく、新しい研究成果を志向する意思と、論理的に考察する能力をもっている者
- ③ 特定の学問領域を学んでいく強い意欲をもち、修得した高度な専門的知識や自らの研究成果を職業に活かし、社会への還元を強く志す者